

インターバンクの声（2015 年 3 月 6 日）

2 月 12 日の 120 円 48 銭までの上昇には追い付かなかったものの、昨晩の NY 市場でドル円は 120 円 40 銭まで上昇した。2 月のドル円上昇時は日銀筋からとされる日銀の追加緩和や円安牽制の報道に約 2 円近い反落となったほか、今週週初にも 119 円台後半で内閣官房参与からの円安牽制の記事がドル円の 120 円台回復を阻止。昨晩もこうした円安牽制に対する警戒が見られたものの、市場は市場に聞くのが一番、需給には勝てないもの。ユーロが 1.0988 まで 2003 年 9 月以来の安値を連日更新。ECB と FRB の金融政策の違いが鮮明になっているだけに当然のこと。こうした中で発表される今晚の雇用統計、昨日から『上に行きたがっている』雰囲気を持ったまま上昇したドル円、ディーラーの悩みはどの水準で利益確定を出すべきか？ 嬉しい悩みではあるもののユーロショートと並んでのドル円のロング、雇用統計を控えディーラーの腕の見せ所かもしれない。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。